

事業名	森林病虫害等駆除費		
細事業名	防除事業費	財務コード	013702
担当部課室	森林環境 部	森林整備 課	森林育成・保護 担当 (内線) 6156

事業の概要

実施期間	始期 S53 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)、県(直営)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 県有林、県施設及び森林所有者の松くい虫対策が十分でないアカマツ林	その対象をどのような状態にして 発生した松くい虫を防除	結果、何に結びつけるのか 森林の公益的機能の維持
	<p>森林病虫害等防除法に基づき、森林病虫害等のまん延を防止して森林の保全を図ることを目的に、県有林、県施設及び森林所有者の松くい虫対策が十分でないアカマツ林で発生した松くい虫を防除するため、次の事業を実施した。</p> <p>(1)県有林及び県施設における松くい虫被害の伐倒駆除 (2)高度公益機能森林において、森林所有者に成り代わり松くい虫被害木の伐倒駆除(命令防除) (3)適正な防除を実施するため、松くい虫を媒介するマツノマダラカミキリの羽化脱出の時期を調査(発生予察)</p>		
事業の内容 主にH25年度			
根拠法令等	森林病虫害等防除法		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	24年度	25年度		26年度	27年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	駆除材積(m3)	455m3	470m3	391m3	470m3	470m3	目標設定の考え方 全県における松くい虫被害量に対する、他の松くい虫対策関係事業の予算や予定実施量を勘案して設定。 データの出典等 森林整備課資料
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	83.2 %					
成果指標	被害面積(ha)	6,478ha	6,470ha	6,433ha	6,430ha	6,430ha	目標設定の考え方 松くい虫のまん延防止の成果として、前年度よりも被害面積が減少することを目標値に設定(目標値/実績値) データの出典等 森林整備課資料
	成果指標達成率 (目標値/実績値)	101 %					
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	9,812		9,888	11,468	11,468	11,468	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	327 時間		281 時間	333 時間	321 時間	321 時間	平成21年度被害面積: 8,893ha 平成22年度被害面積: 7,532ha(対前年比: 85%)
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	時間	平成23年度被害面積: 7,267ha(対前年比: 85%)
所要時間計	327 時間		281 時間	333 時間	321 時間	321 時間	平成24年度被害面積: 6,478ha(対前年比: 89%)
人件費コスト単位:千円 (@2,050円×所要時間)	670		576	683	658	658	平成25年度被害面積: 6,433ha(対前年比: 99%)

これまでの事業の見直し・改善状況

なし

活動量と成果の判断(平成25年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H25年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H25年度成果指標の達成率		松くい虫のまん延防止を目的に、松くい虫被害木の駆除を実施した結果、被害面積については、平成21年以降減少を続けており成果を上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成27年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	当該事業は意図した成果をほぼあげているものの、本県の松くい虫対策をはじめとする森林病虫害対策は、事業実施主体や財源別に7つの事業で実施されており、事業の執行が複雑になっている。このため、事業の目的や内容、事業主体等により関係する事業を整理、統合するなど、効果的な松くい虫防除対策の実行と併せて事務処理の効率化について、検討を進めていく。	j

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: ITの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方角(平成27年度当初予算等での対応状況)

見直しの方角	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方角」が異なる場合は、その理由も記載すること
予算要求時に記入 予算編成後に修正等	

・見直しの方角は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料

様式2

所属名: 森林整備課

細事業名: 防除事業

調書番号: 10

事業の内容を細分化した業務名	具体的な業務プロセス(手順)	業務の時期(フロー)	H25 所要 時間 (h)	H26 所要 時間 (h)A	H27 所要 時間 (h)B	縮減等 B - A	具体的な業務の 見直しの内容	見直しに至った理由等 (又は見直しなしの理由等)
1 松くい虫駆除	松くい虫被害調査	通年	173	225	225	0	なし	事業発注に必要な最低限の必要な時間
	委託事業発注業務	4,6,9月	24	24	24	0	なし	事業発注に必要な最低限の必要な時間
	委託用務監督業務	6,11,12月	16	16	16	0	なし	事業監督業務に必要な最低限の必要な時間
	委託用務精算業務	6,11,12月	16	16	16	0	なし	事業精算に必要な最低限の必要な時間
	事業執行管理	通年	24	24	12	12	事業統合による縮減	他事業と統合し、効率的な執行管理を実施
(小計)			253	305	293	12		
2 発生予察	松くい虫発生予察準備	9月	8	8	8	0	なし	発生予察に必要な最低限の必要な時間
	調査	4,5月	12	12	12	0	なし	発生予察に必要な最低限の必要な時間
	とりまとめ	5月	8	8	8	0	なし	発生予察に必要な最低限の必要な時間
						0		
						0		
(小計)			28	28	28	0		
3						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
(小計)			0	0	0	0		
所要時間 (計)			281	333	321	12		

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートの「事業の目標、実施状況等」の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的な業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見て分かりやすい表現とすること。)なお、見直しがない場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせ、行を加除して記載すること。(複数ページ可)